



第6次綾部市総合計画後期基本計画等の策定に当たり、綾部高校の生徒と福知山公立大学の学生らが意見交換

6市総後期計画を見据えたまちづくり

本年は、市制施行75周年であることに加え、旧図書館を活用した

しい状況が続いています。今回の予算編成に当たっては、スクラップ・アンド・ビルドや経費の見直しを行うとともに、国・府補助金や過疎対策事業債等の地方債を積極的に活用。一方で、貴重な基金も大幅に取り崩しており、厳しい調整作業が求められました。今後は、さらなる行財政健全化を進める必要があります。



旧綾部幼稚園を活用した「こども発達支援施設」。一人ひとりの発達に応じて支援します

「ハート交流センター」、旧綾部幼稚園を活用した「こども発達支援施設」、旧市民センター跡地の「新都市公園・あやパーク」のほか、「西部地域振興支援センター・消防防災拠点施設」が順次オープンする予定。「まちづくりセンター」にはエレベーターを設置するなど、利用者の利便性にも配慮したリニューアル工事も完了する見込み

人口減少「緩和策」と「適応策」で次世代へつなぐ全国的にも人口の減少基調が顕著となる中、スマートシユリンク（賢く縮む）の考えの下、移住・定住施策をはじめ、結婚・妊娠・出産・子育てが安心してできる環境づくりといった人口減少の「緩和策」が求められています。また、高機能でコンパクトなまちづくりや効率的な行財政運営、DXの推進のほか、地方都市の機能維持に欠かせないエンターギャップの解消、多文化共生など、人口減少社会への「適応策」とのベストミックスによる施策展開により、住民サービスの向上を図っていく必要があります。

市民の幸福度や満足度を高め、市民一人ひとりが地域社会に貢献することが持続可能なまちづくり

市制施行75周年の節目として、改めて現在の本市の姿をつくり上げてきた先人に敬意を表しつつ、今を担う私たちの責任で、次世代にうまくバトンを渡しているという「オール綾部」で尽力します。



5月にオープン予定の「あやパーク」。まもなくに新たな憩いの場が誕生します

令和7年度市政運営方針

幸福度と満足度の向上へ

令和7年度の予算などを審議する市議会3月定例会が、2月25日に開会。山崎善也市長はこの日、新年度の市政運営方針を次のとおり述べました。

いにしえからの歴史を未来へ継承

本年は、綾部市が昭和25年8月1日に市制を施行して75周年。三半世紀の節目となります。いにしえの時代から現在に至るまで、脈々と続いてきた長い歴史を鑑みると、今私たちが暮らすこのまちを未来に継承することの大切さを改めて感じています。

不確実な時代に地に足の着いた「綾部創生」を

また、本年は「一人ひとりの幸せをみんなで紡いで実現できるまち：綾部」を将来都市像とする第6次綾部市総合計画の前期5カ年の最終年度であり、後期5カ年へつなぐ、重要な年であります。

昨年から今年にかけて世界各国で新しいリーダーが誕生し、我が



所信を述べる山崎市長＝2月25日、本会議で

厳しい状況下で持続可能な予算を編成

本市の令和7年度当初予算は、「医」「職」「住」「教育・情報発信」をキーワードに各種施策を展開。安全・安心の確保など、課題を先送りしない、次の世代につながる持続可能な予算を編成しました。本市の財政は、令和5年度決算まで6年連続で財政調整基金の取り崩しを回避しましたが、人件費や医療・福祉関係経費の増加、物価高騰の影響で財政需要が増え、市債残高も増加。依然として、厳

市民活動の活性化へ

ハート交流センター開設

市が旧図書館（新宮町）を活用し、整備を進めてきた市民活動支援の拠点施設「市ハート交流センター」が4月1日にオープンします。研修や打ち合わせなどに利用できる貸会議室を設け、自主的・主体的な市民活動の活性化を図ります。



貸会議室は3部屋

同センターは、まちづくりに重要な役割を担う市民活動を支援するための施設。鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建て延床面積約615平方メートルで、事業費は約1億9500万円です。

館内には、市民団体等が研修や打ち合わせ、学習活動などに利用できる大・中・小の貸会議室3部屋と市内6団体の事務所を整備。エレベーターや無料で使えるWi-Fiも新設しました。

なお、施設の開館に伴い、あやべハートセンター（本町一丁目）と市民ホール（宮代町）は、3月31日をもって閉館します。長い間ご利用いただき、ありがとうございます。

令和7年度国民健康保険料

10・17引き上げへ

基金減少し厳しい財政状況続く

市は2月4日、令和7年度国民健康保険（以下、国保）の運営について、市国民健康保険運営協議会（渡邊博幸会長）に諮問し、答申を受けました。市はこの内容を尊重し、関連予算案を市議会3月定例会に提案しています。

府への納付金も増

答申の内容は、2年連続となる保険料の引き上げを「やむを得ない」とするもの。引き上げざるを得ない理由は、府への国保事業費納付金が増加し、国保準備基金（貯金）が減少しているためです。

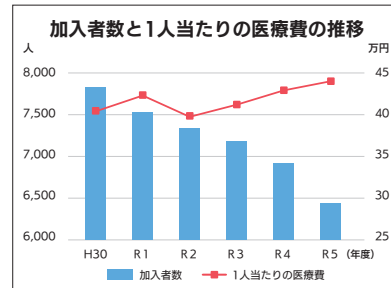


渡邊博幸会長＝写真左＝から答申を受ける山崎市長

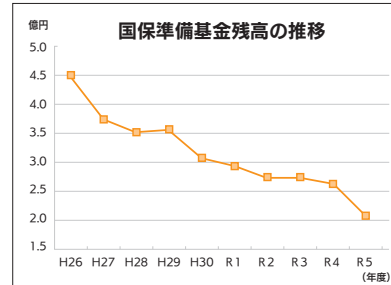
国保事業費納付金

府全体の保険給付費等をまかなうために必要な額を、市町村が府に納付する負担金。納付額は、各市町村の被保険者数や所得水準、医療費水準などを考慮して決められます。

<グラフ①>



<グラフ②>



加入者の負担軽減を図るため基金を活用して収入を補填し、保険料を令和5年度まで11年間据え置いてきました。その結果、基金残高は年々減少し、グラフ②。国保を安定して運営できるよう、令和6年度にやむなく保険料を引き上げました。しかし、依然として厳しい財政状況が続いています。

負担の急増に配慮

現在の医療費水準に見合う保険料額にするには、約15%の引き上げが必要です。これに対し、物価高騰などの社会情勢を踏まえ、加入者の負担に配慮。引き上げ幅が大きくなり過ぎないように基金を活

用し、令和7年度の1人当たりの保険料は9万9048円と、昨年比10・17%増としています。保険料の内訳は、医療給付費分が6万8979円（同比18・52%増）、後期高齢者支援金分が2万2739円（同比2・26%減）、40～65歳が対象の介護納付金分が2万4898円（同比10・65%減）です。なお、保険料の府内統一化などを見据え、今後も毎年見直しを行います。

市は引き続き、歳出削減と保険料収納率の向上などに取り組み、健全な財政運営に努めます。ご理解とご協力をお願いします。

施設案内

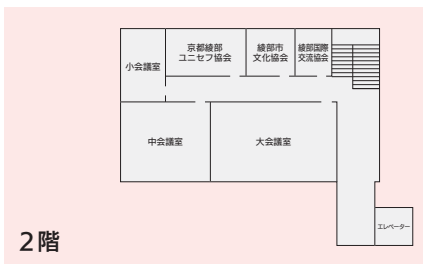
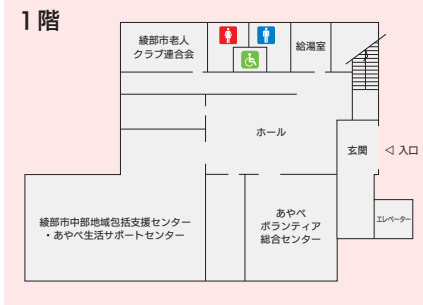
所在地 綾部市新宮町91番地
開館時間 午前8時30分～午後10時
休館日 年末年始（12月29日～翌年1月3日）
主な機能 大会議室（収容人数24人）
 中会議室（収容人数16人）
 小会議室（収容人数6人）
料金 利用する会議室の広さや時間帯などにより異なります。詳しくは、市ホームページをご確認ください。
駐車場台数 28台（貸館利用者専用）

会議室の空き状況の確認や予約申し込みはインターネットからできますが、事前に利用者情報の登録が必要です。詳しくは、市民協働課☎(42)4248へ問い合わせるか、市ホームページに掲載している利用案内を参照してください。



記事ID5059

ハート交流センターの概要や予約方法などはこちら





私たちの心のふるさと、あやべ水源の里。その活動を順に紹介しながら、集落の「元気のヒミツ」や日々を楽しく暮らすコツを探ります。

水源の里・市志

多彩な活動で活性化図る

五泉町の市志は、平成18年の水源の里条例の制定後、初めて指定を受けた集落の一つ。清流・上林川の支流である畑川の上流部に



集落近くのミツマタ群生地。あやべ水源の里トレイルランのコースにもなっている



「市志大豆プロジェクト」として、昨年10月に開催された枝豆の収穫祭。大豆作りには、毎回多数のボランティアが参加している

位置します。

平成19年にスタートしたフキオナー制度を皮切りに、「スイセンとヒガンバナの丘」や「どんぐりの森キャンプ場」の整備、農作物の収穫やシイタケの菌打ち体験といったイベントの開催など、多様な活動を展開。地域の活性化を目指し、都市住民との交流事業を積極的に進めてきました。

近年は、休耕田を活用して有機栽培した大豆を使い、みそやこうじを作る「市志大豆プロジェクト」を推進。新たな特産品の開発にも注力しています。伊勢晃代表は「当面の目標は、市志産大豆のみその販売。事業を軌道にのせて、地域の魅力発信につなげたい」と、今後の展望を語ります。

シリーズ 人権を考える

人権教育講演会

なぜ部落差別について学ぶの

「差別をする人がいなければ、差別をされる人はいなくなる」

反差別・人権研究所みえ事務局次長 本江優子さん

2月15日に中丹文
化会館(里町)で開
催された講演会の内
容をお知らせします。

無関心が差別を助長

講師の本江さんは、自身が受けた結婚差別の体験をもとに、部落差別の原因が、今なお社会に残る無意識の偏見や思い込みによるものとして、人権啓発に取り組まれています。

講演では、自身の活動拠点である三重県で起きている差別の現状について触れながら、差別をなくすために必要なのは「社会の大多数を占める『無関心』な人々たちを反差別行動者(差別をなくすために努力する人)に変えていくこと」と語りました。差別は見ようとしなければ見えません。差別の実態を知らない人や「自分は差別をしない」と決めつける人は、誤った



情報を信じ込み、差別をする側になる可能性があります。私たち一人ひとりが、人権問題に関する学びを深めて正しい知識を身に付けること、そして、差別を「しない」ではなく「許さない」姿勢を持つことが大切です。人権尊重の輪を地域で広げ、誰もが安心して暮らせる社会をつくっていきましょう。

資料館だより

綾部市資料館春季企画展

「名探偵 土を掘る!〜地面の下のミステリー〜」

実際の発掘調査の写真や出土遺物を使って説明をするほか、土器の復元や実測道具の体験コーナーもあります。地面の下に眠る歴史を知り、綾部の昔について楽しく学びませんか?

会 期 3月25日(火)〜5月18日(日) ※月曜日は休館
時 間 午前9時〜午後5時
場 所 資料館
入館料 無料

関連イベント

発掘調査を体験しよう!親子でできる体験コーナー(20分程度)

日 時 4月5、12日(土)、5月3日(土・祝)
午前10時〜、11時〜、午後2時〜、3時〜
場 所 資料館横(屋外)
対 象 小学生以上
参加費 無料
その他 汚れてもよい服装でお越しください。
※雨天中止

<問い合わせ>

社会教育課(平日) ☎(42)4328
資料館(土・日曜日、月曜日除く祝日)
☎(43)1366 ☎(43)2134 住所: 里町久田21番地の20



今月の手話

暮らし、生活



両手の親指と人さし指を伸ばして、指先を向かい合わせる



胸の前で、両手同時に動かして円を描く

協力: 京都府聴覚障害者協会綾部支部



ミツバチの知恵

よく働くミツバチを100匹集めても必ず一定の割合はサボり始め、逆にサボるミツバチばかり集めたら一定の割合は働き始める。つまりハチやアリなどの集団生活を営む生態では必ずから「せつせと働く」「普通に働く」「あまり働かない」の3つのグループに分かれ、その大体の割合「3:4:3」から「サシミ・刺身」の法則とも呼ばれる。これら待遇が同じであれば、よく働くハチから不満が出てきそうなものだが、どんなに真面目なハチでもずっと働き続けることは困難なため、疲労時の交代要員として普段は働かずにいるハチの存在が、持続的な組織運営の上では欠かせないとの説も…。

ところで、ミツバチの世界は女王バチを頂点とする専制社会の典型のように思われているが、実は全体による集団意思決定システムが存在するという。例えば女王バチを含む群れが新たな巣に引っ越すことを「分蜂」というが、新天地をどこに求めるかという死活にかかわる大きな決断を下す際には、数百匹の「探索ハチ」が持ち寄る候補地の情報をハチ独特のダンスで共有し「民主的な」数の論理で決断するという。この過程で何と、女王バチは狭い部屋に閉じ込められ蚊帳の外にされているといい、これは独裁的な指導者による専横を避ける種の存続を懸けた知恵であるとか。

ミツバチの生態と人間社会を単純に比較できないことなど承知しながらも、人類が長い時間と大きな犠牲を払って積み上げてきた民主主義を、自国第一主義や保護主義を声高に掲げて一蹴するリーダーの台頭をみる今、時にはミツバチの生態から学ぼうとする謙虚な姿勢を持ちたいものだ。そして願わくば、人類の智慧が少なくともミツバチよりは優っていると信じていよう。

山崎善也(綾部市長)